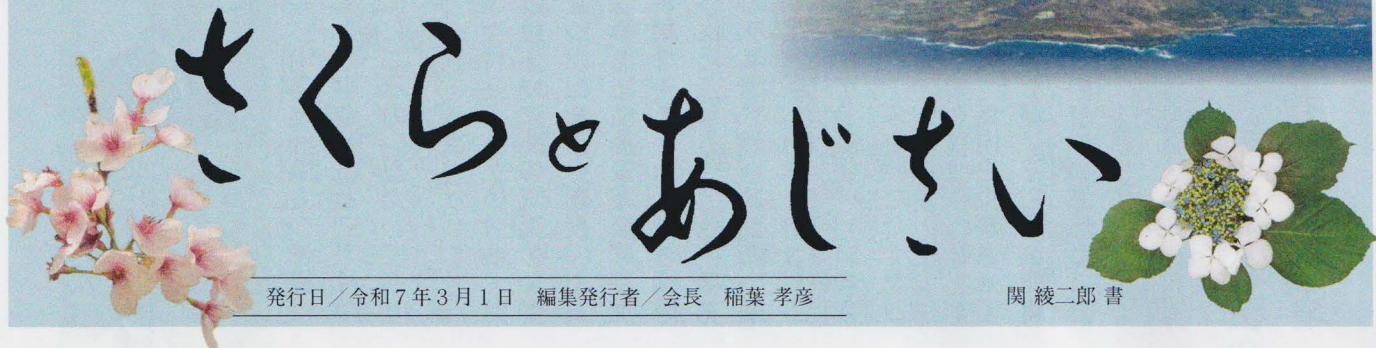


小金井三宅島友好協会会報 [第54号]



発行日／令和7年3月1日 編集発行者／会長 稲葉 孝彦

関 綾二郎 書



魅力あふれる三宅島へ

小金井三宅島友好協会会長 稲葉 孝彦

昭和53年10月1日、小金井市は市制施行20周年記念式典を小金井市公会堂で盛大に挙行了しました。

そのメインは本市の永利友喜市長と三宅村の大沼良三村長による友好都市盟約の締結でした。締結の署名は大勢の市民が見守る前で行われました。

また、その数日後の10月7日には三宅村の「郷土芸能まつり」に合わせ、小学校の体育館に「小金井市三宅島保養所建設推進会」が募った小金井市民、280人を含む1200人という記録破りの人の参加で盟約が披露されました。

三宅島との交流は江戸時代の安政3年（1856年）に遡ります。侠客・小金井小次郎が賭博の罪で三宅島に流刑され赦免されるまでの12年間、島民の生活や文化の向上、娯楽の提供などに貢献、特に水不足に苦しむ伊豆地区の島民のために造った「小金井小次郎井戸」

は村営水道が普及する昭和50年頃まで100年近く使われ島民に感謝されていました。

昭和44年三宅村が小金井小次郎井戸の周辺にさくらを植えたというの声にこたえて、市民有志がさくらを贈り協力しました。昭和51年にはその返礼として三宅島から島の花であるあじさいが贈られ市内各所に植えられました。この小次郎の功績と花の交換が取り持つ縁で三宅島との交流が急速に進み盟約に至りました。

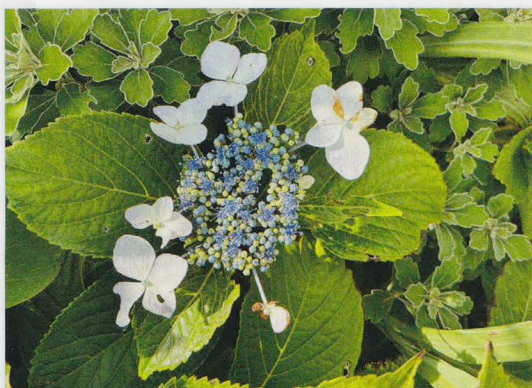
小金井市三宅島保養所建設推進会は昭和54年6月発展的解消し、組織はそのまま「小金井三宅島友好協会」と改称し、その後も三宅村との市民レベルでの交流で友好・親善を積極的に推進し現在に至っています。

三宅島は青く明るい海に囲まれた緑の美しい島です。活発な火山活動により織りな

れる独特の景観は黒や赤さび色の溶岩跡の造形はその美しさとともに自然の凄まじさを感じさせるものです。

島一周は30数キロメートルです。健脚の方にはウォーキングをお勧めします。レンタカーやレンタサイクルもありますし、周遊バスも便利です。季節に合わせてマリンスポーツやバードウォッチング等も楽しめます。

是非、島を訪れ、この雄大な自然と島民の人情に接していただくことを願います。十分に皆様のご期待にお応えさせていただけると思います。



ガクアジサイ



友好都市盟約締結46年の絆をさらに

小金井市長 白井 亨

小金井三宅島友好協会の皆様には、平素より小金井市と三宅村の友好交流にご尽力いただいております。ことに厚く御礼申し上げます。

昨年度はあいにくの荒天で船が欠航となったため、今年度、市長として初めて三宅島産業祭に参加させていただきました。時雨模様のお天気でしたが、物産販売コーナーや島の味コーナーなど魅力あるブースが設置され、会場には活気が満ちており、私もパッションフルーツジュースをいただくなど満喫いたしました。

産業祭の後、島内を視察させていただきました。三宅島を訪問するたびにその自然の悠然さと恐ろしさを同時に感じさせられます。島の中心に位置する雄山はもちろんのこと、各港、七島展望台からの景色は圧巻です。その一方で、火山体験遊歩道では、昭和58

年の噴火にて島内で最もにぎわっていた温泉郷阿古地区がほぼ溶岩によって消失している光景があり、その自然の脅威をまざまざと見せつけられます。

幕末の俠客・小金井小次郎が井戸を作り、島民に親しまれた縁に由来する小金井市と三宅村の友好都市盟約も46年となりました。この間、様々なことが変化し、近年では新型コロナウイルス禍においてさらに時代の歩みは早まることとなりました。ただ、オンライン化、非対面・非接触が推し進められ、SNS全盛となったこの時代においても、真の人のつながりは、直接的な関わりによって形作られるものと思います。貴協会では両自治体の友好・親善を目的に、そんな「場」の提供を続けていただいております。初夏・晩秋における旅、三宅島写真展、市内の祭りでの三宅島物産の販売など、市民

にとって友好都市とのつながりを身近に感じられる場となっています。引き続き、両市村の友好交流の推進にお力添えいただけますと幸いです。

結びに貴協会並びにこれまで小金井市と三宅村の友好交流を推進してこられました皆様にこの場をお借りして改めて御礼を申し上げますとともに、本市と三宅村の友好が末永く続いていくことを祈念し、ご挨拶とさせていただきます。



阿古小中学校跡



小金井市内の賑わいづくりと町おこしの交流拠点

一般社団法人 小金井市観光まちおこし協会

KOGANEI CITY KANKO MACHIOKOSHI ASSOCIATION

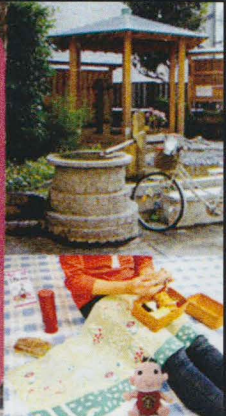



「イベント情報」や「おすすめの観光スポット」など
小金井市内の魅力をホームページよりご覧いただけます。
まち歩きや桜の開花情報など、旬の話題も盛りだくさん。
観光の前にぜひチェックしてみてください。

小金井市イメージキャラクター こきんちゃんグッズ 販売店です。

<http://koganei-kanko.jp/>
TEL : 042-316-3980

小金井市観光まちおこし協会 検索





小金井市民の皆様へ

三宅村村長 山高 亜紀子

小金井三宅島友好協会会報「さくらとあじさい」第54号の発行、誠におめでとうございます。

小金井三宅島友好協会の皆さまには、平素より友好発展にご尽力賜り厚く御礼申し上げます。

さて、私こと、昨年2月に行われた村長選挙におきまして、4年間、村政運営の重責を担わせていただくこととなりました。就任以降、村民の皆さまはもちろんのこと、友好都市である小金井市の皆さまをはじめとした島外の方々からも励ましの言葉をいただくなど、改めて村長としての使命と職責の重さを感じる毎日ではございますが、「豊かで持続可能な村づくり」を目指し、村民の皆さまが誇りをもって、未来に希望をもって、幸福に生きられるよう、全力で取り組む所存でございます。

皆さまご存知のとおり、小金井市と三宅村は、昭和53年に「友好都市盟約」を締結いたしました。以来これまでの間、三宅島では2

回の噴火災害が発生し、平成12年の噴火では4年5ヶ月に及ぶ全島避難となりました。

おかげさまで、今年は平成17年の避難指示解除、帰島から数えて20年という節目の年を迎えることができました。これもひとえに、全国の皆さま、とりわけ小金井市及び小金井市民の皆さまからの温かいご支援の賜物であると心から感謝いたしております。

また、現在まで小金井市と三宅村は47年間にわたり交流を重ねてまいりましたが、その歴史には、歴代市長様や市議会議長様をはじめとした市議会の皆さまのお力添え、そして小金井三宅島友好協会の皆さまのご尽力を抜きにしては語ることができません。

とりわけ、小金井三宅島友好協会の皆さまには、毎年三宅島ツアーの企画から実施まで手がけていただき、毎年秋には「魅力ある三宅島写真パネル展」を小金井宮地楽器ホールにおいて開催してい

ただいております。幅広いご支援を賜りまして、大変嬉しく心強い限りでございます。

現在、三宅島では年間を通して様々なイベントを企画し、観光振興に力を入れております。

春から秋にかけては、噴火を繰り返す雄山のダイナミックな自然を間近に感じることができる火口周辺の自然環境を観光の対象にした東京都版エコツーリズム「雄山火山体験入山75」の実施や、毎年11月には火山島である三宅島ならではの溶岩帯を走行することが出来るオートバイイベント「MERIDE 三宅島エンデュロレース」を開催しております。

このように元氣な三宅島を体感していただきたく、小金井三宅島友好協会の皆さまをはじめ、市民の皆さまのご来島を三宅村民一同心からお待ちしております。

最後になりますが、今後も小金井市と三宅村両市村が、盟約に謳われておりますように、「人と自然の調和ある街づくりと歴史的ゆかりを共通の絆」として相互の交流を深め、「友好自治体」としてさらに発展していくことを心から願っております。

商工会は 行きます 聞きます 提案します

● 事業資金の推せん・斡せん ● 記帳や決算、税金のご相談 ● 労働保険等労務相談

事業者と共に歩み、地域社会を豊かにする組織です

小金井市商工会

TEL : 042-381-8765 FAX : 042-382-8585



三宅島から小金井市の皆さまへ

三宅島友好・交流協会副会長 石 森 良 房

小金井市の皆さまにおかれましては、ますますご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

市民の皆さまもご存知の通り、小金井市と三宅島の友好の絆は46年ともなり、両市村にとって何物にも代えがたい宝物となっています。

2024年10月25日から28日迄、宮地楽器ホールマルチスペースにおいて、「魅力ある三宅島写真パネル展」を開催していただき、三宅島の自然、歴史、文化などをご紹介していただきました。

開催にあたりまして、ご尽力いただいた小金井市三宅島友好交流協会の皆さまをはじめ、関係者の皆さまに心より感謝御礼申し上げます。

また、三宅島にて11月に開催された産業祭では小金井市の皆様にお越しいただき、三宅島の特産品をお楽しみいただけた事、大変喜

ばしく思っております。

現在の三宅島は2000年の噴火から25年の歳月が過ぎ、雄山山頂付近の荒廃した土地にも植物たちの力強い息吹が感じ取れるようにもなりました。

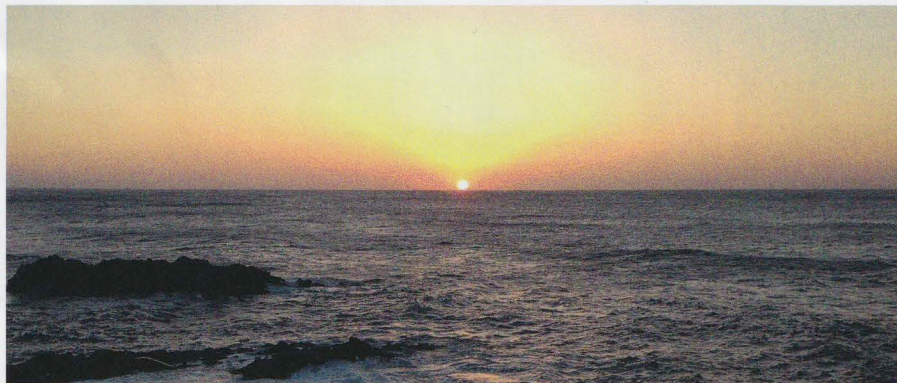
山に再び生い茂る緑が戻ってきたことは、三宅島民として大変感慨深いものです。

またマリンスコーレ21フェスティバルや三宅島エンデューレースなどの大きな祭典、イベント、また他にも島の様々な行事が行われ、島民其々に活気が満ち溢れています。



小金井市民の皆さま、年間を通して過ごしやすい三宅島にお越しいただき、ぜひ地球の自然活動のダイナミズムを肌で感じていただきたいと思います。

交流協会一同、皆さまとお会いできることを楽しみにお待ちしております。



「ふるさと味覚館」から見た夕日

親しい方への贈り物には郷土銘菓をご利用ください。

地方発送も承っております。

和洋菓子のお店
亀屋本店

武蔵小金井駅南口南一番街店 ☎ 042-385-8181

三宅島初夏の旅

6月7～9日

三宅島初夏の旅

西村 京香

三宅島の思い出を記します。

参加したきっかけは、引越してきた為心細く、早く町の方と仲良くしたかったのと機会がないと行かないので足跡をつけに行こうと思い参加しました。実際に観光してみても、鳥居や学校が噴火によって埋もれており、死者が0人なんて信じられないくらい衝撃的でした。どんな状態になっても必ず再生していく生命の強さを感じました。

ここからは道中のお話を。三宅島観光を支えたバス車内では、星野さんの面白い案内や車内に流木を持参して奥様に怒られる夫婦もいらっしやって一人一人が違う面白さを持っていて終始笑いが絶え

ず和やかな車内でした。ひょうたん山へ皆様はウミガメを見に、遠い崖まで行ったのはいいものの、

熱中しすぎてなかなか戻って来なくて時間ギリギリになり、星野さんたちが慌てて呼び戻し、そんなハプニングさえ楽しそうな皆様を見て幸せでした。強風で帽子が飛び、奇跡的にもまた戻って来たことがあり、なんとも面白くて笑いがおきました。こちらのご夫婦の方と度々お話ししたり夜ごはんも一緒に食えることが出来て、私もいつかこんなご夫婦のようになりたいと心穏やかな気持ちになりました。民宿での夜、大將さんが熱心に島の食べものを語ってくださったり、良いお声で歌を披露してくださって、大変にぎやかな夜になりました。就寝時には、4人部屋で少々お話ししたり、就寝時間を合わせて頂き、久々に人と一緒に眠れて温かい気持ちになり嬉しかったです。



大路池

あなたの街の便利屋さん

お気軽に
お問合せ
ください

TEL 042-538-2585

MAIL info@team-bright.com



Bright 有限会社ブライト

【営業時間：9時～18時】

〒190-0031 東京都立川市砂川町 6-43-22



つくば観光交通株式会社

・年中無休 ・24時間営業

サンキュー無線

一般タクシー

TEL 042-388-0039

のご用命は

(寝台)

車いすタクシー

TEL 042-360-8989

のご用命は

ライフサポートサービス

TEL 042-381-5004

始めました

三宅島初夏の旅

長峯 直人

令和6年6月初旬、初めて小金井三宅島友好協会主催の三宅島旅行に参加させていただきました。私は、令和3年5月にひとり旅で三宅島を訪れており、島を訪れるのは2年ぶりでした。

2年前のひとり旅では、折りたたみ自転車を持ち込み、三宅島の周遊道路を2周しました。その時、自転車の機動力を活かし、島内の観光地は、ほぼ回り終えていたのですが、今回の旅行では、事務局の方から詳しい説明を受けながら、島内を回ることができ、たいへん勉強になりました。

何より、ひとり旅と違い、団体で和気あいあいと、島を回るのはとても楽しい時間でした。

今回の旅行で、特に印象に残った場所が2つあります。

ひとつは「火山体験遊歩道」です。溶岩に飲み込まれた、阿古小中学校を見て、改めて自然災害の恐ろしさを感じました。自然の前

には人間の力が無力であることを再認識しました。その一方で、火山災害の跡を遊歩道とすることで、被災の記憶を風化させない三宅島の島民の方々の逞しさを感じることができました。

もうひとつは、「自然ふれあいセンター・アカコッコ館」です。ここでは係の方から、三宅島でのイタチ被害について伺いました。野ネズミの農業被害を防ぐために試験的に導入されたイタチが爆発的に繁殖し、天然記念物のアカコッコや、オカダトカゲを激減させていると伺いました。一見すると美しい自然あふれた三宅島の中で、人間の行為が生態系を破壊しているという事実。自然と人間はどう共生していくべきなのか、改めて考えさせられました。ただ三宅島の表面的な美しさを見るだけでは



ハイビスカス

なく、考えさせられる話でした。

最後になりますが、三宅島を離れるとき、多くの島民の方のお見送りをいただきました。三宅島の島民の方々の優しさに触れた瞬間でした。

フェリーが島を離れても、いつまでも手を振ってくださる島の方に感動してしまい、こちらもいつまでも、手を振っていました。人が温かい島、三宅島を感じずにはいられませんでした。またいつか、三宅島を訪れたいと思っています。

三宅島初夏の旅

事務局 星野 伸之

今年は、梅雨入りが幸運なことに一週間遅れとなり、天候に恵まれました。「これで、旅の成功は間違いなし!」と、確信しました。

今回、旅の行程は、全て三宅村役場総務の方にお任せしましたが、三宅島の魅力を存分に堪能出来るコース設定頂きました。その中でも、季節遅れの明日葉摘が出来る

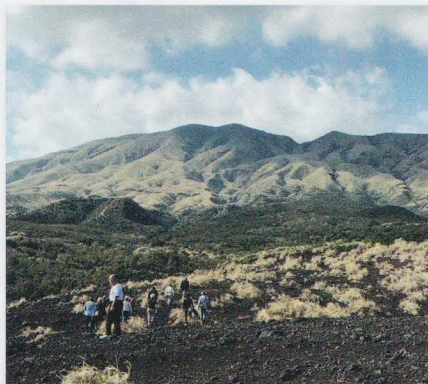
農園を捜し、農園の方に交渉して頂き明日葉摘が出来、参加者の方に大変好評の様でした。

三宅村役場総務の方、神戸農園の神戸さんに深く御礼申し上げます。

今回の参加者は、ちょうど男女10人ずつ、比較的年齢層も幅広くアットホームな雰囲気でお楽しみいただけたのではないかなと思います。

一人でも多くの方に、リピーターになって頂ければと思いますと同時に、小金井市民の方に三宅島の魅力をお話頂ければ幸いです。

最後に、20人の定員のところ40人以上の方にお申込み頂きました。誠にありがとうございます。



ひょうたん山

三宅島 晩秋の旅

11月15〜17日

秋の三宅島へ

伊丹 文男

三宅島について少し自分のことから書き始めます。知っていたことは伊豆七島・火山の島・東京都・全島民避難・小金井小次郎・そして「小金井三宅島友好協会」・年一回のパネル展こんな程度しか知識はありませんでした。今回文化協会の会長から話を聞いて三宅島に行くツアーを知り早速申し込みました。ここ約二十年間の旅は写真撮影だけで写真の内だけのものでした。ほぼ決まり切った仲間での旅です。今回は老若男女含め現役から年金生活者まで範囲が広く、大変恵まれた旅になり楽しんでいます。

船一泊の二泊三日のコースでしたが、三宅島の歴史から観光と小

金井市との交流等々色々勉強になりました。特に感じたのは長年に渡って交流を繋いできた「小金井三宅島友好協会」のお力を痛感しました。三宅村長をはじめ三宅島交流友好協会の方々、また三宅島の産業祭に合わせてくださったのでしようが、祭りまで参加でき非常に素晴らしい経験をいたしました。

一方、自然の力の大きさを肌で感じさせられました。二十数年前の火山噴火時の人口は一人弱が現在は二千人強となり、島にはコンビニがありません。私は写真撮影で関東・東北によく出かけますが余程山奥でない限りコンビニはあります。島内をバスで廻って貰いましたが、集落でも商店がありません。島の中心は雄山で立ち入り禁止になっておりましたが一部を除いて木が成長しています。海岸側は生憎の天気でしたが火山の溶

岩でできた海岸線はダイナミックな姿を与えてくれました。隣りの御蔵島も姿を現してくれました。東京から百八十キロですが海のど真ん中に来た感じで心が豊かになりました。

心豊かになったのは食べ物のおいしさでしょうか。明日葉の天ぷら、刺身の味と島の方々のおもてなし自然力を十二分に満喫して最終日の船に乗船。デッキに出ましたら三宅島の方々が手を振ってお見送りいただきました。

定刻に出港し一路東京へ。はて、東京から東京ですね。夕方、東京湾に入って右に房総半島左に三浦半島を眺めているうちに東京の街の灯かりとともに一〇二分間隔で飛行機が成田・羽田に飛び交っています。下船まで甲板で東京の夜景を堪能しました。

余りにも素晴らしい経験をしましたので早速写真八人で四月に撮

影会を企画しました。

これも偏に小金井三宅島友好協会の皆様のお力で楽しく実のある旅をさせていただきましたこと厚くお礼申し上げます。

ありがとうございました。

三宅島晩秋の旅に参加して

佐藤 奈津子

2024年11月、「初夏の旅」に引き続き「晩秋の旅」に参加させていただきました。個人的には3回目の訪島となります。

今回の旅はあいにく天候に恵まれません、いくつかの訪問地は車内からの見学になったりカットされたりしてしまいましたが、それでも自然を感じ、噴火や小金井小次郎などの歴史を学び、そして新鮮な魚や野菜を味わうことができて三宅島を堪能することができたと思います。

立ち寄った産業祭では農産物詰め放題の行列ができていました。バス移動をしているとあまり現地の方や民家、畑を見かけませんが、

元気な村の方々と積み上げられた農産物を見てなんだかほっとしました。

3日目の早朝には希望者6名で大路池一周のプチ旅を決行しました。大自然の中の優雅なお散歩のはずが途中から雨中のフィールドアスレチックと化し、行く手を阻む道路いっぱいの水たまりにはまったり、大きな倒木をくぐったり跨いだり……。とどめの上り坂の階段は思ったよりハードでおかげで朝食をより美味しくいただくことができました。

旅を通して感動するのは食事の美味しさ。新鮮なお刺身や亀の手の旨味を味わうお味噌汁、そして島の特産野菜の明日葉は和え物や天ぷらでいただきました。ひまわりの種に集まるシジュウカラや伊豆諸島にしか生息しないオーストンヤマガラの可愛い姿を愛でながらの民宿での食事は野鳥好きの私としては最高でした。

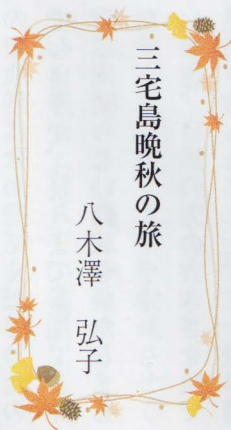
2回目参加の余裕からか今回は他の参加者の方々とたくさん交流ができました。特に帰りの船では船室やデッキ、レストランで様々なバックグラウンドを持つ

方々の話をうかがうなどとても楽しく有意義なものとなりました。三宅島ツアーは私の年中行事になりそうです。

最後に友好協会の方々、参加者の皆さん、そして笑顔で迎えていただいた三宅村の方々、大変お世話になりました。三宅島も村も小金井市との友好関係ももともと盛り上がりつついていくことを願っています。

三宅島晩秋の旅

八木澤 弘子



三宅島晩秋の旅に参加される皆様は何度となく同行させて頂いておりましたが、秋の旅、三宅島産業祭は例年晴天に恵まれておりました記憶が強く、去年は海が荒れ船が欠航したため訪島を断念しました。今年は無事、船も出航し楽しみにいたしておりましたが、雨天が続き涙、涙で、島内観光スポットもバスから下車が難しい状況でした。産業祭での出店の各地域からの皆様が作られた美味しい赤目



豪勢な刺し盛

芋の煮付け等を食べることが出来ませんでした。

悪天候で一つ良かったのは、外の見学が難しいことから、浅沼さんの銅像のあります郷土資料館内を見学出来ましたこと。

島の歴史をたどる展示物を熟視する事が出来、別の面からのより島のことを深く理解をなされて、何度とかの噴火から島の再起等の経緯をも今回参加なされた皆様により強く感じて頂けたのではと思います。

またいつも小金井市からの訪島の折には、上松三宅島交流友好協会の会長様からのお心暖まる差し入れの大きな船盛りは、参加者一



民宿にて

同感激で、美味しいお魚の味は忘れられない思い出になっていることでしょう。

また、今回もお世話になりました、「どんぐり」さん・「いけ吉」さん・「新鼻荘」さん、と皆様のお心遣いで島の物産をお料理に「亀の手の味噌汁」・「赤目芋の煮付」・「明日葉の天ぷら」・「和え物」・「炒め物」・「美味しいお魚」等沢山く出して下さり、島の皆様には何時感謝の気持ちで一杯です。

さくらまつり

山口 暁彦

今年も、例年どおり3月の23日(土)・24日(日)に第70回が開催された。

今回は、小金井桜名勝指定100周年という節目の年で、開催に一層の盛り上がり期待いたしました。桜まつりなのに、主役の桜の開花がまったく見受けられず、驚きショックを受けました。天候の影響で開花が遅れているということでした。

このことから見物の人々が訪れるのか懸念されましたが、天候が憂慮される中、いつもと変わらず多くの人々が訪れ賑やかとなり、



出店はもとより、予定通りのセレモニー、夜桜のライトアップが行われるなど、桜まつりの雰囲気は維持されました。

したがって、三宅島の物産も二日目ではほぼ売り切れとなり、何よりでした。

期待の桜は、一週間後には、満開となり、夜間には、三色のライトアップされるなど、華やかさに包まれ昼間はもとより夜間も多くの人々が訪れお花見を楽しんでおりました。

三宅島パネル展の開催

福沢 政雄

小金井市と友好関係にある三宅島を市民に知って頂くと共に小金井と三宅島との歴史や交流状況などを写真やパネルで紹介する、「三宅島パネル展」を10月25日(金)28日(月)の間、小金井宮地楽器ホールの一階マルチパーパスで開催しました。

東京から南南西の180kmの太平洋上にある三宅島について、活火山「雄山」が織りなす独特の地形、湖、海、海岸、世界中から注目されている野鳥アカコッコなど魅力あふれる自然と花、海の幸、食の文化などを写真展示するとともに、小金井小次郎の三宅島での功績に始まる小金井との歴史、小金井で咲

いている三宅島の額アジサイ、三宅島で咲くこがねい桜、人・組織による小金井・三宅島の相互訪問・文化交流など、今につないでいる交流・友好親善関係をパネルで紹介しました。

訪れた方々は、写真やパネルを通じて特に三宅島の雄大な自然の風景写真に高い関心を持ち見入っていました。中には「三宅島にはどうやって行くのですか。」などの質問もありました。

初日には、白井市長と神山副市長も訪れゆっくりとご覧になりました。また、三宅島自然ふれあい大使の三咲順子さんは、三宅村観光協会作成の観光パンフレットをもとに訪れた方々に三宅島のPRを丁寧にもた熱心に行っていました。



第二回こがねい産業祭り

成本 淳平

第二回こがねい産業祭りが11月9日(土)10(日)の二日間、武蔵小金井駅南口フェステバルコートを中心に開催されました。天候にも恵まれて昨年第1回を無事に開催でき市内の盛大のイベントの一つとなりました。今年度も昨年同様に市内の各店舗の名物が数多く出店しておりフェステバルコートの中央に市内の農家様自慢の野菜で造った大きな「宝船」が祭りをより一層祭りを盛り上げておりました。会員メンバーで例年通りの三宅島の物産品を数多く調達して販売をいたしました。いつも特に好評な三宅島のレモンはあっという間に完売になり2日間ですべて仕入れた物産品を完売することができました。また初日に三宅島自然ふれあい大使の三咲順子様にも販売のお手伝いをいただきより一層のブースの販売を盛り上げていただきました。

また来年度も引き続き出店して、より多くの方に三宅島の物産品を購入していただき三宅島の魅力を知っていただければ嬉しい限りです。

定期総会

5月21日、午後18時から、萌え木ホール3階で開催された。

白井市長、宮下議長、大熊教育長、市議会議員の方々、友好協会役員、会員の参加を得て挙行された。

稲葉会長の開会の言葉で始まり、会の進展状況、三宅島の現状等が述べられた。

また、協会の活動等映像をもつて紹介された。

その後、議長に本間理事を選出し議事に入る。

令和5年度事業報告、決算報告、令和6年度予算案、事業計画、が審議され、いずれも承認された。



令和五年度 事業報告

■桜まつり「小金井公園」

三宅島物産販売

3月25日～26日

■令和四年度会計監査

4月27日

■第47期 定期総会

5月18日

■初夏の旅

5月26日～28日

■「魅力ある三宅島」写真パネル展

「宮地楽器ホール」

9月21日～25日

■なかよし市民まつり「小金井公園」

三宅島物産販売等

10月14日～15日

■産業祭

三宅島物産販売

小金井駅南口ロータリー歩道上

11月11日～12日

■晩秋の旅（悪天候のため中止）

11月17～19日

■新春のつどい

1月29日

■「さくらとあじさい」第53号発行

2月1日 900部

定例理事会（毎月第二火曜日18時）
編集委員会14回



アカコッコ

令和6年度事業計画

実施年月日	事業名	実施場所
令和6年3月23～24日	桜まつり	小金井公園
4月27日	令和5年度会計監査実施	萌え木ホール
5月21日	（第48期）令和6年度定期総会	三宅島
6月7～9日	市民「三宅島初夏の旅」開催	宮地楽器ホール
9月	「魅力ある三宅島」写真パネル展開催	小金井駅南口ロータリー歩道上
11月	「小金井市農業祭り」（第75回）参加	三宅島
11月	市民「三宅島晩秋の旅」	レストラン葦
令和7年1月	「新春のつどい」	
3月1日	会報「さくらとあじさい」第54号発行	
その他 ＊定例役員会 ＊東小金井駅北口1号公園へ三宅島特産のがくあじさい植栽の推進 ＊小金井市と三宅村の一層の友好を深めるために交流活動の推進 ＊小金井市と三宅村の一層の友好を深めるために、「小金井三宅島友好音頭」の歌、踊りの紹介と推進 ＊「魅力ある三宅島」写真パネル展の開催 ＊会員増強		



家周りの設営一式【ご提案から工事まで】
植栽造園・エクステリア・タイル・レンガ等

お任せください。
庭づくり

株式会社
秋葉タイル工業所

〒184-0003 東京都小金井市緑町1-2-37
TEL 042-381-9016 FAX 042-384-9956

住居まわりの環境をお手伝い！

SYSTEMS



さわやかな風をあなたに
空気調和・給排水衛生設備

ムサシノアロー株式会社

代表取締役

福平 恵一

本社 〒184-0003

東京都小金井市緑町5丁目21-23

TEL 042-382-0111 FAX 042-384-2155



令和 5 年度 決算 報告 書

(令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日)

歳 入 の 部				歳 出 の 部			
単位：円				単位：円			
項 目	予算額	決算額	備 考	項 目	予算額	決算額	備 考
繰 越 金	6,751	6,751		会 議 費	150,000	93,431	総会・役員会・理事会 他
年 会 費	180,000	162,000		事 務 費	250,000	188,909	通信費・資料印刷代 他
助 成 金	900,000	900,000		友好親善費	2,860,000	2,532,978	交流費・市民まつり・パネル展 他
事業収入	2,400,000	1,865,930	桜まつり・市民まつり・旅参加費 他	会報発行費	270,000	236,830	さくらとあじさい53号
寄 付 金	110,000	206,000	さくらとあじさい広告収入 他	渉 外 費	30,000	19,740	
雑 収 入	3,249	3	銀行利息 他	雑 費	10,000	0	
計	3,600,000	3,140,684		予 備 費	30,000	0	
				計	3,600,000	3,071,888	
				次年度繰越金		68,796	

特別会計

寄附金¥648,062 + 利息¥6 = 残高¥624,180

令和 6 年 3 月 31 日

上記の通り決算報告を致します。

会 長 稲 葉 孝 彦 ㊞

会 計 福 平 良 全 ㊞

会 計 成 本 淳 平 ㊞

令和 6 年 4 月 26 日

上記の通り監査結果が適正であることを認めます。

監 査 山 口 暁 彦 ㊞

監 査 大久保 佐一郎 ㊞

令和 6 年度 予算

(令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日)

歳 入 の 部				歳 出 の 部			
単位：円				単位：円			
項 目	予 算	備 考		項 目	予 算	備 考	
繰 越 金	68,796			会 議 費	150,000	総会・役員会・理事会	
年 会 費	170,000			事 務 費	250,000	通信費・資料印刷代	
助 成 金	900,000			友好親善費	2,500,000	交流費・産業祭・パネル展 他	
事業収入	1,950,000	こがねい桜まつり・産業祭 他		会報発行費	250,000	さくらとあじさい	
寄 付 金	110,000	さくらとあじさい広告料 他		渉 外 費	30,000		
雑 収 入	1,204	銀行利子 他		雑 費	10,000		
計	3,200,000			予 備 費	10,000		
				計	3,200,000		

特 別 会 計

単位：円

項 目	予 算	備 考
寄 付 金	624,180	

相続まちの相談室

G ムサシノ行政書士事務所
行政書士 星野 伸之

- ・相続知識マスター・相続アドバイザー・空き家相談士
- ・家族信託コーディネーター・宅地建物取引士

〒184-0011 東京都小金井市東町 4-33-4 G ムサシノ 3 階

TEL / FAX 042-381-3963

賃貸物件現状回復工事、ハウスクリーニング、
建物清掃全般建物内装工事、建物のこと何でもご相談ください！

J,Clean
We are the best partner for your clean life
有限会社 ジェイ・クリーン

本社 / 184-0015 東京都小金井市買北町 3-7-4
 小金井営業所 / 184-0003 東京都小金井市緑町 1-6-45
 TEL / 042-386-5937 (代表) FAX / 042-386-5938
 E-mail / j.clean@jcom.home.ne.jp
 HP / http://jclean-housecare.co.jp

相談役
神島
璫子



メガネ岩から見た三本岳

小金井三宅島友好協会の会員になりませんか！

本会は小金井市と三宅村と盟約四十周年を越えての友好で結ばれております。是非ご加人をお待ちしております。詳細は事務局へお問合せ願います。

レモン畑

小金井市と三宅島村が古い歴史のなかで盟約が結ばれ、小金井三宅島友好協会が創立し、その友好協会の活動と三宅島の魅力を知って頂く会報誌「さくらとあじさい第54号」がこの度発行の運びとなりました。

掲載のためご多忙中のなか執筆
頂いた皆様には厚く御礼申し上げ
ます。

又、いままでは2月初めにお届けいたしておりましたが今回遅れて申し訳ありません。お詫び申し上げます。
(記・荒木)

編集委員 荒木、田中、星野、八木澤、

山口

小金井三宅島友好協会

事務局 星野

千一百四十一〇〇一

小金井市東町四一三三十四

○四二一三八一—三九六三

住まいの事なら本間不動産へ

そろそろ1人暮らしがしたいなあ。

子供のためにも、庭付きの家を探そう？

駅に近くて便利なマンションに住み替えようか？

賃貸・売買 仲介・管理 内外装リフォーム 新築工事 相続対策 資産活用

当社案内図

日蓮堂駅 三郷駅
 東側 ダバビル 西側
 ショッピングセンター 公園通り商店街 公園通り
 JR武蔵小金井線 JR武蔵小金井線

